



## サケの路(水路)

このサケの路は、能代川多自然型川づくり研究会のメンバーや能代川サケ・マス増殖組合員、五泉市職員、九十九曲がりの会会員、地域住民など、多数の方々から参加していただき、親水階段や粗朶護岸などの整備を、手作りで行いました。



計画作り



親水階段づくり



粗朶護岸づくり



階段づくり



石張り護岸づくり



サケの模様づくり

## サケのつかみ捕り大会

サケ広場の完成を記念して「サケのつかみ捕り大会」が開催されました。



サケのつかみ捕り大会



## サケの捕獲と採卵

能代川を遡ってきたサケは、楽新保広場の下流にある床止め工の位置にあるウライと呼ばれる柵により、進路を妨げられます。そのため、上流に上がろうとするサケはサケの路(水路)を遡ります。水路の上流端には捕獲用の籠があり、そこに入ったサケは籠の外に出られなくなります。こうして1日50本~460本のサケが捕獲されます。捕獲されたサケは、上流の戸倉にある孵化場で人工授精され、春に稚魚約100万匹が放流されます。また、上流の南田中付近では、自然産卵している様子が見られます。

※名称は公募により「能代川水辺公園」「楽新保広場」「サケの路(水路)」と名付けられました。四季を通じて、釣りや水遊びができます。

← サケの遡上コース



楽新保広場全景



サケの路の様子



サケ捕獲用籠



水揚げの様子



卵の採取



人工授精の様子



自然産卵の様子



サケの放流